

経団連カーボンニュートラル行動計画
2023年度フォローアップ結果 個別業種編

2050年カーボンニュートラルに向けた石灰製造工業会のビジョン
(基本方針等)

業界として2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン（基本方針等）を策定しているか。

■ 業界として策定している

【ビジョン（基本方針等）の概要】

2023年6月策定

(将来像・目指す姿)

当工業会は、日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言及び経団連のカーボンニュートラル行動計画に賛同し、2050年カーボンニュートラル実現を目指す。

1. 第1の柱：国内の事業活動における排出削減

(1) エネルギー転換の促進

再生可能エネルギー熱利用設備の導入やガス燃料に切り替え、エネルギー起源のCO₂発生を抑制する。

(2) エネルギー回収・利用

排熱回収による排熱ボイラー設備の導入、燃料・燃焼用空気の加温等

2. 第2の柱：主体間連携の強化

石灰製品の機能性向上および製品歩留まり向上、並びに新規用途開発による上・下工程のスコープⅢの負荷軽減等

3. 第3の柱：国際貢献の推進

石灰焼成に関する技術指導および技術交流を推進する。

4. 第4の柱：革新的技術の開発

業界としての取り組みは検討中である。

なお、参画各社では次の取り組みが進められている。

①焼成炉排ガス中のCO₂回収および資源化

②石灰の化学蓄熱を利用した工場の高温排熱の回収と再利用が可能な蓄熱装置の研究開発および実証試験

③カーボンニュートラルの実現に向けたコンビナート等における産業間連携の検討

(将来像・目指す姿を実現するための道筋やマイルストーン)

・まずはカーボンニュートラル行動計画フェーズⅡのCO₂排出量削減目標達成に向けて参画各社と共に取り組む。

なお、達成するためには特に国及び関係行政の支援、助言を得られるかが重要となるので連携・協力を強く望む。